

フージャース マンション 相次ぎ再開 状況改善 千葉・府中などで

フージャースコーポレーションは、東京都府中市の京王線府中駅前で総戸数1000戸規模のマンション開

発に着手する。昨年12月には、千葉市中央区で総戸数54戸の「デュオヒルズ千葉椿森」に着手しており、今後も数物件のプロジェクトを再開していく予定だ。

「ファイナンスの状況が改善されていること、また、一時高騰していた建築費が元の水準に戻ったことも大きな要因」としている。

昨今の不動産市況の悪化から、同社では新規分譲マンションの開発を一時凍結していた。その間、強みの高い営業力を生かした販売

が順調に進捗（ちよく）。新規開発の下地が整ったと判断した。

販売代理事業については、昨年9月からの4カ月間で「グランドホライゾン・トーキョーベイ」（千葉県船橋市）の残り514戸を完売した。そのほかにも、得意エリアである千葉・埼玉エリアで受託した数物件が順調に進んでいる。既に、

今期（10年3月期）計画の引き渡し戸数1500戸を上回る1630戸の契約（自社開発と販売代理の合計）が完了している。

なお、2月下旬から3月中旬にかけて販売開始予定の「デュオヒルズ千葉椿森」

ファミリータイプ。3000万円台前後の価格を予定している。

府中のプロジェクトは専有面積50〜70㎡台で、シングル・DINKS・ファミリーまで幅広い層をターゲットとした商品に仕上げ